

水分測定装置の

Q&A セミナー

日時

2022年8月24日(水)
13:30~15:05

配信

Microsoft Teams ライブイベント
(Teamsアプリケーションのほか、インターネットブラウザ Chrome (推奨), Firefox, Edgeでの視聴が可能です。)

資料

配布資料はございません。

参加費
無料

昨年開催いたしました水分測定技術セミナーでお客様からご質問に対してのQ&Aを配信してきた総集編のセミナーになっております。下記の時間およびQ&Aの内容となっておりますので、昨年参加できなかった方やもう一度お聞きになりたい方は奮ってご参加ください。

第1部

13:30開始(約20分)

4・6月 通常版

- 粉末試料の連続測定、メンテナンスの方法
- ばらつきやすい試料の測定
- 測定上の誤差が発生する要因について
- 気化装置で逆流を防ぐポイント
- 配管つまりを解消するには
- 滴定液の飛散防止対策
- 測定誤差に影響しやすい環境
- バイアルびんやセプタムの保管方法

第2部

13:50開始(約20分)

7・9月 通常版

- ケトン用の試薬を用いる際の注意事項
- 電位が安定するまで時間がかかる
- 部品に対する問い合わせ(グリース)
- 気化装置の性能確認(ガラス毛细管)
- チェック液Pの使い方
- 電極の交換タイミング
- メンテナンスに関する質問
- 滴定フラスコ、電解セルの洗浄

第3部

14:20開始(約20分)

10・12月 通常版

- 気化装置 キャリアーガスについて
- 気化装置 加熱管汚れと測定への影響
- 気化装置 陽極液が減ったときは
- 長期間装置を使用しないときの保管方法(容量法)
- 水分測定に推奨される測定環境
- 力価測定の値が安定しないとき
- 長期間装置を使用しないときの保管方法(電量法)

第4部

14:45開始(約20分)

8・11月 DI版

- JP18 気化法での適合性試験
- 気化装置の信頼性確認(バイアルタイプ)
- 電量法 陽極液の液面上昇
- JP18 「測定の適合性試験」の実施頻度
- JP18 「測定の適合性試験」の確認方法
- 過滴定状態の解消方法
- 試薬の選択

セミナーへの参加は、下記のアドレスよりお申込みください。

<http://www.n-analytech.co.jp/>

日東精工アナリテック株式会社

水分測定技術セミナー担当 営業推進部 市川・高橋

※弊社ホームページ
「イベント・セミナー情報」より
お申込みいただけます。

TEL : 046-278-0052

